



1 単元名 「つたえたい 中神のっておき」

2 単元構想

単元目標	中神小学校を中心とした自分たちの生活や地域の出来事について身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることの良さや楽しさに気付くとともに、すすんで触れ合い交流しようとするができるようにする。
児童の実態	第2学年の児童は、1学期「中神大すき たんけんたい」の学習を通して、中神小学校の学区内の地域について調査活動を行い、地域に対する関心を高めてきた。また、自分の「っておきなところ」を紹介し合う活動を行うことで、地域への興味を広げることができている。この単元において、児童が紹介した「っておきなところ」を、「人・もの・こと」の視点で分類すると「もの」が多く、紹介の中でふれている児童はいたものの、「人」の視点が少ない傾向が見られた。 2学期には、1学期の学習内容を関連付けながら「みんなでつかう 中神のしせつ」及び「もっと中神大すき たんけんたい」の学習を行い、生活圏内の公共物の存在や利用方法、中神の良さに結び付く「人」の存在について学びを積み重ねることができている。
教師の願い	第2学年の児童は登下校にも慣れ、友達の家などからの行き来や習い事などから、徐々に行動半径を広げつつある。地域を探検する学習を進める中で、通学路を基盤としつつも、少しずつ中神全体の様子を知ってほしいと考える。1学期に行った地域探検において、「人・もの・こと」の視点から情報を整理したことを生かし、「もっと知りたい」という気持ちを原動力に探検を重ね、「中神のっておきなところ」を見付けることで、中神に住む人々に対する親愛の気持ちも高めてほしいと考えている。 また、国語科で学んだ「必要なことをメモする力」「聞きたいことを質問する力」「相手に応じて適切な言葉遣いを選択する力」などの既習事項を実践的に活用させ、生活科だけでなく他教科の学びもつながっているという実感や自己の成長を認める時間を確保していきたい。

3 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小単元における評価規準	(1)	①自分が伝えたいことについて、目的や相手に応じた様々な発信方法があることに気付いている。 ②伝え合う活動において、適切な言葉遣いがあることに気付いている。	①誰に何を伝えるかを思い描きながら、自分が伝えたいことを見付けている。 ②目的や相手に応じて、自分が伝えたいことが伝わる方法を比べて選んでいる。	①相手の反応や状況に合わせて、多様な方法で伝えたいことや気持ちを表そうとしている。
	(2)	③自分が伝えたい「っておきなところ」が相手に伝わる良さや楽しさに気付いている。	③既存の体験を生かし、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。	②「中神のっておきなところ」について伝えたい」という思いをもち、すすんでふれ合い交流しようとしている。 ③身近な人々と関わることの良さや楽しさを実感し、多様な人々との関わりを自ら築いていこうとしている。

5 単元の指導計画・評価計画（9時間）

時	・学習活動 ◆まとめと次への見通し 「期待する児童の振り返り」	○学びどころ ☆地域との関わり ★教科との関連	評価の観点		
			知	思	態
(1) 中神のとおきなところの中でつたえたいことをまとめよう（5時間）					
1 2～5	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">小単元の問い：「中神のとおきなところはなにかな？」</p> <p>・今までに調べたことを整理し、中神の良さについて出し合う。</p> <p>・伝えたい相手のことを想像し、伝えたいことが伝わるように方法を選択し、準備を進める。</p> <p>◆自分たちが調べてきた中神の良さは、そこで生活したり働いたりしている人の良さに支えられているのだということを伝えていきたい。</p> <p>「熊野神社の盆踊りは、お店の人がとっても楽しかった。4年生が盆踊りを教えてくれたので、本番で楽しく踊れた。まだ、お祭りに行ったことのない人にも教えてあげたい。」</p>	<p>○「これまで調べた中神の良さについて知っているところ」を話し合ったり単元の計画を立てたりすることを通して、学習の見通しをもつ。</p> <p>☆通学路のコースを生かした探検</p> <p>☆地域の方（保護者を含む）へのインタビュー</p> <p>★国語科の言語関連事項や、生活科の既習事項を生かし、相手意識をもった活動を行う。</p>	① ②	① ②	①
(2) 中神のとおきなところをつたえよう（4時間）					
6 (本時) 7～9	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">小単元の問い：「どうしたらうまくつたえられるかな？」</p> <p>・中神の良さについて友達同士で伝え合う活動を通して、より伝わりやすいようにするにはどうすればよいか考え、準備をする。</p> <p>・中神の良さについて保護者や地域の方に伝えたり交流したりする活動を行う。</p> <p>◆聞いてもらう相手のことを考えてしっかり準備をすると、伝えたいことが伝わりやすくなり、相手に伝わると、伝えた方もとても嬉しい気持ちになる。</p> <p>◆これからいろいろなことを調べて伝え、中神の人々と更に仲良くなっていきたい。</p> <p>「今日は、〇〇さんに△△の紹介をしました。お店に売っているものや店員さんの優しさを伝えたら、『今度、お買い物に行ってみるね。』と言ってくれました。自分がすてきななって思ったところが、〇〇さんに伝わって嬉しかったです。他の人にも教えたいです。」</p>	<p>○地域の方に伝える活動を行う前に友達と伝え合う活動を取り入れ、相手に伝わりやすくするための工夫を伝え合ったり、必要に応じた改善や練習をしたりする時間を設けることで、自信をもって伝えることができるようにする。</p> <p>○自分が紹介したい内容を伝えることで相手に伝わる良さを実感し、すすんで交流しようとする気持ちをもてるようにする。</p> <p>☆保護者や地域の方々への情報発信及び交流活動</p> <p>★国語科の言語関連事項や、生活科の既習事項を生かし、相手意識をもった活動を行う。</p>	③	③	② ③

(1) 子どもと学びの結び

●既習事項から始める単元設計

- ・「学校たんけん」「中神大すき たんけんたい」「もっと中神大すき たんけんたい」の学習で積み重ねてきた内容を基に、自分事として考えられるように単元の導入を設定する。

●児童と考える単元計画

- ・児童の思いを大切にしながら活動を進めることができるよう、単元計画に柔軟性をもたせる。

●直接の交流活動の設定

- ・既習の調査活動や伝え合う経験を生かして直接交流する活動を設定し、その良さが実感できるようにする。

◎地図等の成果物の活用

- ・年間を通じて作成してきた学習成果物を有効に活用し、地域について自分事として捉え続けることができるようにする。

(2) 子どもと子どもの結び

●グループの話合いや共同作業の設定

- ・同種、異種のグループを作って活動する場面を設定することで、課題解決に向けて協力したり違う視点から考えを広げたりすることができるようにする。

●伝える内容の交流

- ・伝える内容を児童同士が交流し、より良く修正したり学びが深まったりするようファシリテートする。

○交流活動の工夫

- ・自分事として伝え合いができるようにするために、中神のとおきなところを保護者や地域の方に伝えたり感想を聞いたりする活動を取り入れることで、伝え合うことの心地良さや楽しさを味わい、自己肯定感も高められるようにする。

(3) 資質・能力の結び

【国語科】

- 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。(情報)

- 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。(書くこと)

- ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。(話すこと・聞くこと)

- ◎伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。(話すこと・聞くこと)

- ◎文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現の良いところを見付ける。(書くこと)

(4) 教科への結び

- (もの・こと) 中神の様子

→ (国語科)「すてきなところをつたえよう」

- (もの・こと) 中神の様子

→ (国語科)「楽しかったよ、二年生」

- (人、こと) 勤労

→ (道徳科)「いま、ぼくにできること」

(5) 地域との結び

●居住地や通学路をこえた地域理解

(人・もの・こと)

- ・自分や友達、保護者が知っている場所を紹介したり合ったりすることで、中神にある「人・もの・こと」を捉えることができるようにする。

●授業公開を活用した発表 (人)

- ・保護者会前に設定された授業公開に生活科の時間を設定し、身近な存在でもあり、地域の大人でもある保護者に、中神の良さを伝える活動を取り入れることで、多様な人々との関わりを自ら築いていこうとする素地を養う。

◎多様な発信方法の工夫 (人)

- ・相手の立場や状況について想像しながら考え、既習事項の中から適切な発信方法を選択して表現させることで、地域の方に対しての相手意識や能動的な関わり方が身に付くようにする。

(6) 社会との結び

●地域への実際の訪問

- ・1学期の学習を生かし、探検内容を更に深めたい地域や、新たに探検してみたい地域を実際に訪れる活動を取り入れ、地域の様々な様子を捉えさせることで、地域社会に対する視野を広げられるようにする。

●他地域への関心の広がり

- ・「他の地域にも、中神のようなどっておきなどところがあるのではないか。」という視点をもてるようにすることで、休日等に祖父母宅等を訪れた経験や旅行に行った経験を基に、他地域のとっておきなどところを伝え合ったり、日記に書いたりする活動を位置付ける。その中で、様々な地域にそれぞれのとっておきなどところがあることに気付けるようにする。

(7) 未来との結び

●地域参画に向けた意識の育成

- ・児童が地域について知ったことを身近な人に発信する活動を通して、中神について知るとともに、それらをみんなで共有したり守ったりする地域の一員としての意識をもてるようにする。

●体験から自分のこれからについて考える

- ・探検や発信を通して、「人・もの・こと」への意識が高まったことを振り返らせ、「中神の良さをもっと知りたい」「自分も中神の良さを守っていける人になりたい」「もっと中神の人と関わっていききたい」という視点をもてるようにする。

(8) 自分の心との結び

●振り返りの積み重ね

- ・ワークシートと「振り返りシート」を分け、「振り返りシート」に振り返りを積み重ねることで、自分の学びのプロセスを振り返りやすくし、自己理解を深めたり学習を積み重ねてきたことの良さを実感したりする。

◎振り返りの時間の精選と時間確保

- ・単元の中で、じっくりと振り返りを行う時間を見定めて実践するとともに、振り返りの時間を十分に確保し、ゆっくりと自己内対話できる時間とする。
- ・振り返りを書く際に、単元を通したためあてや本時のためあてに立ち返りながら書けるように支援する。

7 本時の学習／全9時間中の第6時

(1) 本時の目標

中神のとおきなおきなところを伝え合う活動を行い、相手に伝わりやすい工夫についての見通しをもつことができる。

(2) 子どもの姿・手だて・期待する変容

前時までの子どもの姿	本時の目標に対する手だて	期待する変容
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、「1・2学期の地域探検」「公共施設訪問」などの学習を通して、地域には様々な「人・もの・こと」があることに気付いている。また、自分が得た情報を発信する多様な方法を獲得するとともに、必要に応じて選択する大切さも意識してきた。 地域の方々に発信するために相手意識をもって準備する中で、伝えることへの意欲を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成してきた地図を統合し、中神の地域について視覚的に捉えやすくする。 「中神のとおきなおきなところ」が自分たちの生活を支え、より良いものにしてきていると感じ取れるようにするために、「中神のとおきなおきなところ」を伝え合う時間を十分に確保し、振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 中神について実際に調べた体験や、「中神のとおきなおきなところ」を伝え合う活動などを通して、学習に対する達成感をもつとともに、中神への思いを深め、それらを大切にしていきたいと考えることができるようにする。

(3) 本時の展開

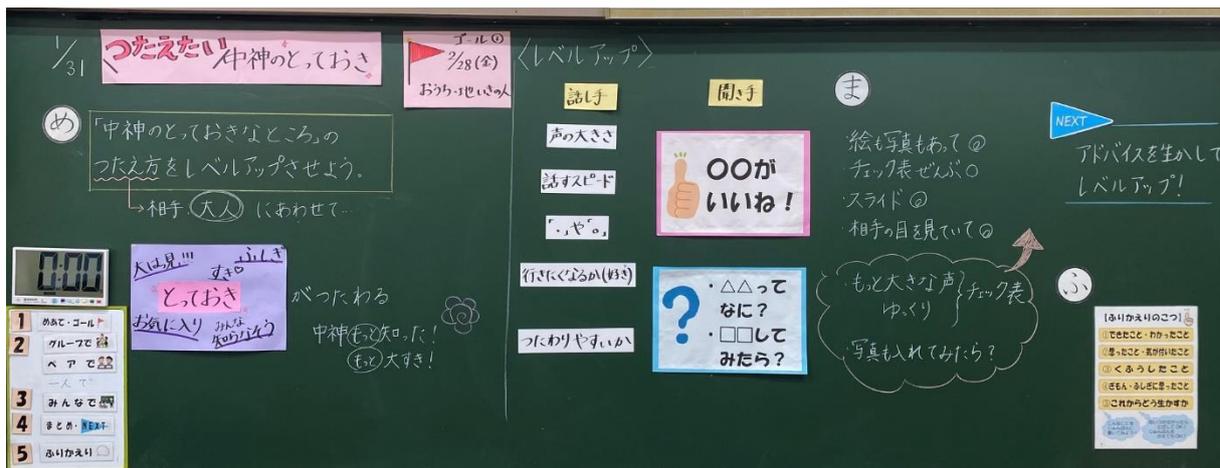
学習過程 (時間)	学習活動 ・予想される子どもの反応と活動	◎手だて ●評価
課題の把握 (1分)	1 前時までの学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。 「今までに学習してきたことを振り返って、今日学習することを決めましょう。」	◎既習事項を掲示しておくことで、振り返りやすいようにする。 ◎前時の「NEXT」を生かして、方向性を絞る。
めあて (2分)	「中神のとおきなおきなところ」の伝え方をレベルアップさせよう！	
見通し (4分)	2 学習の流れを決める。 「レベルアップとはどのようなことができたか良いのですか。」 ・声の大きさ、話す速さ、資料をうまく使って、動きを取り入れて、思いを込めて 等 「前回のみなさんの希望でレベルアップするためのポイントをチェック表にしました。それでは、どんな流れで学習したら、レベルアップができそうですか。」 ①「めあて・ゴール」(7分) ②学び合い「グループ」(15分) ③学び合い「全体」(10分) ④「まとめ」(5分) ⑤「NEXT」次時の見通し(3分) ⑥「振り返り」(5分)	◎全体で、「レベルアップ」という言葉の共通理解を図ることで、事後の活動の中で、何をすれば良いのか共通理解できるようにする。 ◎チェック表を教師から与えるのではなく、前時までにレベルアップのポイントをあげさせ、児童からのチェックリストにまとめてほしいという願いを叶えるように展開していく。 ◎ポイントについては生活科だけでなく国語科の既習事項も生かして考えることができるように、掲示物を適宜活用する。 ◎児童間での伝え合いだけでなく、初めて聞いた人にも分かりやすいか確認したいという思いをもたせることで、参観者等の大人ともふれ合うことが可能な流れを作る。

<p>学び合い (20分)</p>	<p>3 グループで発表し、良いところやレベルアップするためのポイントについて伝え合う。 「それでは、これからアドバイスタイムをしてみましょう。」 ・グループ内で、紹介内容や紹介に対するアドバイスなどを交流する。</p>	<p>◎必要に応じて調べた視点や発表形態が違う児童でグルーピングするなど、学びが広がったり深まったりする工夫をする。 ◎チェック表の視点を基に友達の発表を評価してアドバイスすることでレベルアップにつながるようにする。また視点を自覚することで自分の発表のレベルアップにもつながるようにする。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>4 伝え合う活動を振り返り、まとめる。 「アドバイスタイムをしてみて、発見したこと、思ったことなどを教えてください。」 ・相手に伝わると嬉しい。 ・自信をもって大きな声で伝えないと、相手には伝わりづらい。 ・少し、直してもいいですか。</p>	<p>◎相手のことを意識して伝える大切さに気付くことができるように、発言を整理していく。 ◎国語科の学習内容が活かされていることを価値付け、他教科とのつながりを押さえる。 ◎より良くするための視点を発言の中から整理し、価値付けることで、自分がどこを改善していくか決定できるようにする。</p>
<p>NEXT (次時の見通し) (8分)</p>	<p>5 より良くレベルアップさせる。 「どんなところに気を付けたら、より良くなりそうですか。アドバイスを生かしてレベルアップしてみましょう。」 ・文章、資料、伝え方、動作等の改善を行う。 ・考えたことを実際に試してみる。</p> <p>6 次時の学習への見通しをもつ。 「次の時間は何をしますか。」 ・アドバイスを生かしてレベルアップさせたい。 ・保護者や地域の人に伝えたい。</p>	<p>●中神のとおきなおきなところを伝え合う活動を行ったことで、相手に伝わりやすい工夫についての見通しをもつことができたか。(発言・ワークシート) ◎机間指導及び同グループ内での意見交流を生かし、自分なりの工夫や改善ができるようにする。</p>
<p>振り返り (5分)</p>	<p>7 活動全体の振り返りをする。 「今日の学習を振り返りましょう。」 ・(別記)</p>	
<p>次時</p>	<p>保護者・地域への発表を目指して、アドバイスを基に発表を改善していく。</p>	

【期待する振り返り】

最初はあまり声が出なくて、うまく伝わりませんでした。でも、アドバイスタイムで内容をほめてもらったので自信ができました。レベルアップタイムでは、声を大きくすることを考えて練習しました。今度は、大人の人が相手だから緊張するかもしれないけれど、調べたことがちゃんと伝わるように、しっかりと伝えたいです。

(4) 板書計画



単元デザインシート 2年

この学びをサポートする地域材

人

- ・見守り
- ・スクールゾーン
- ・農家の方
- ・お宿の方
- ・3つの会の方

もの

- ・公園
- ・熊野神社 諏訪神社
- ・自然... 田・畑・花...
- ・お店... 茶の・丸巻
- スーパ・コンビニ
- 花のハテル カレキ

こと

- ・公営施設
- ・お祭り (熊野神社、中神公園)
- ・清掃活動

学びの成果発表・表現方法
活動としてのゴール

ゴール

中神のよさを伝えよう!

相手に合わせてより伝わりやすい方法で。

選択する

- ・クイズ
- ・マップサート
- ・絵本
- ・劇
- ・すごろく
- ・タブレット
- ・ポスター

この学びの経験から育つもの・こと
期待する児童の姿

- ◎ 地域の良さを感ずる
ことのできる児童
- ◎ 伝える楽しさ、人と関わる
「良さが分かる」児童

目的や相手に応じて

発信方法 が分かる! 伝えられる!

子どもの身近にある

“面白い” “わくわく” “驚き” “感動”

中神ってすてき!!

伝えたいなあ.....

どんな方法にしよう? 7777

クイズ 劇 すごろく

絵本

楽しい! 良けいあ

「テーマ」
「この単元の肝」
相手に合わせて伝える
どんな方法がある? 適切なのは?

つたえたい!!!

中神のすてき

人 こと もの

教師の“面白い” “わくわく”

中神ってすてき ところ

に〜くんあるよね!

伝え方、様々!!

どんな思いをもつて、
どんな方法も選択する!

発信方法を次に生かせるよ!

子どもの本質的な学び

知識・技能 / 主体的に学習に向かう態度

知識・技能

- ・自分が伝えたいことについて、目的や相手に応じて発信方法があることに気付いている。
- ・伝え合う活動において適切な言葉遣いも意識して準備を進めている。
- ・相手に伝わる良さを「良さが分かる」。

主体的に学習に向かう

- ・相手の反応や状況に合わせて、**発信** 多様な方法で伝えたいことと受け手とを考慮している。
- ・伝えたい... という思いをもち、手紙でふれ合い交流しようとしている。
- ・身近な人と関わることの良さを喜びを共有し、多様な人との関わりを自ら望んでいることとしている。

子どものこれまでの知識や経験

学校探検

地図を基に1年生を案内
レク絵画・クイズラリー

遠足

1年... 昭和公園
2年... 多摩動物公園

地域探検

下校コース (赤・青・緑・桃・黄)

どこまで見よう! 地図にまわってカードで伝える。

インフォ - 公共施設

